



西横野小通信

学校教育目標 「学ぶ子」「助け合う子」「元気な子」

第13号

令和2年7月13日

発行責任者 萩原 宏明

TEL 393-1127

授業改善と学習努力

先日、ある学級の授業の様子を見てみると、一人の男の子が目にとまりました。なんとなく姿勢が乱れ、集中して話を聞くことができている様子です。近くに寄って見てみると、ノートに書かれている文字も乱雑。でも、書かれている内容は正しく書けています。「この問題、間違いやすいけど、合ってるよ。」「難しいのにすごいね。」と、そっと声をかけると、嬉しそうに次の問題に取り組み始めました。ただ、気になったのは【えんぴつ】です。右手に全体が隠れてしまうほどの短さでした。筆箱の中を見せてもらおうと、同じような短い鉛筆ばかり。しかも芯が折れているものもあります。「短くなるまで大切に使うのは偉いけど、長い鉛筆の方が姿勢もよくなるし、文字もきれいに書けるようになるよ。長い鉛筆も持っておいで。」と声をかけてみました。翌日、今度は廊下からその子の様子を見てみると、右手から鉛筆が出ています。教室へ入り、「あれ、鉛筆、長いのを持ってきたんだね。もしかして筆箱の中も。」と聞いてみると、ニヤニヤしながら筆箱の中を見せてくれました。きれいに削られた長い鉛筆が揃って入っていました。

私たち教員は、少しでも良い授業をしようと日々考えています。それが本分ですから当然ですが、「こういう方法の方が子どもたちが分かりやすいかな」「ここでこれを使うと理解が深まるだろうな」「ここでじっくり考えさせれば力が付くな」など、年齢や経験に関係なく授業改善に努めています。

しかし、どんなに上手で良い授業をしたとしても、どうしても必要なのは子どもたち自身の「学習努力」です。中学校や高校へ行けば、なおさらです。「分かろうとする気持ち」「聞き取ろうとする気持ち」「こだわり」です。授業改善に学習努力が加わって、学力は確かなものになっていきます。1本の鉛筆やちょっとした声かけが、子どもたちの意欲や姿勢を変えていきます。

学校では、そんなことを意識して、日々、子どもたちの指導をしています。



* 学校行事の検討を続けています *

東京を中心に感染してしまう人がまだ少なくなりません。子どもたちが楽しみにしていた行事も、中止や延期、縮小になってしまっています。

2学期には運動会や校外学習など、多くの行事が予定されています。子どもたちの成長にとって、意義や必要性が大きい学校行事ですから、安易には決められず頭を悩ませています。旅行事業者や受入先などのガイドラインに沿って安全に実施できるよう、引き続き検討を進めます。

なお、10月に予定されていた「安中市小学校陸上教室記録会」は、各校のテント内や輸送の関係等から、残念ながら「中止」となりました。

* 布マスクの配布について *

児童一人につき1枚の布マスクが文部科学省から届きました(2回目です)。今日・明日のうちに お配りしますので、ご活用ください。



* 砂利を敷いていただきました *

先日、保護者の方から「不要な砂利があるので」とお話をいただきました。早速、軽トラで何度も運んでくださり、敷いていただきました。鳥小屋の近くは雨水がたまりやすくて困っていましたが、お陰様できれいで歩きやすくなりました。本当にありがとうございました。